秋田魁新報　2026年10月02日付　県北

能代科技高生 道路改良工事を見学

測量技術など学ぶ

能代科学技術高校建設科2年生11人が、能代市二ツ井町荷上場地区で国道7号の道路改良工事現場を見学した。大森建設（能代市）の工事担当者から現場管理や測量などの業務を学び、土木分野の仕事に理解を深めた。

9月16日の見学には県山本地域振興局と能代山本建設業協会が協力。担当者は、コンクリート製のL字擁壁ごとに現場で重量を手書きしていることに触れ、「重機で簡単に運搬していると、現場では重量物だという感覚がなくなる。口頭でも説明はするが、接触しただけで危険な重さだと目で見て確認できるようにするため」と説明した。

近年は情報通信技術（ICT）を用いた機器類が作業の効率化や省力化につながっている。測量機器の操作に関心を持った土木コースの川村陽優さんは「作業員の位置に合わせて機械が自動で動くことや衛星を使った測量方法があることが分かり、すごいと感じた」と話した。（今井正一）



測量機器の操作を体験する生徒ら

ⓒ秋田魁新報社